



本庁舎建設
建設費も

大幅遅延 約2年完成延期へ

2021年当初予定 **364億円** → 2023年 年末予定 **406億円** **大幅増!**

完成延期は3回目!? 完成は令和11年8月31日に大幅遅延。保坂区政の工事監督責任はないのか
建設費増の承認は区議会の決議なし。保坂区長の専決決定で良いのか?

論点1 引渡し2か月前の急遽延期。区は見抜くべきでは?

- 令和5(2023)年7月31日に1期工期は完了予定だったにもかかわらず、そのわずか2か月前の5月24日に「引渡しは令和6年3月29日に変更」という申し入れが大成建設からあったのです。
- 区には建築部門があり素人ではない以上、5月より前の段階で工事の遅延に対して、積極的に対応すべきだったのではないのでしょうか。
- 大成建設は、区・区民に対して著しく信頼関係を欠く対応をしているにもかかわらず、区はこの問題に及び腰ではないのでしょうか。



大成建設の発言

技術提案時の悪さ加減というのが、我々もやればやるほど、検討すれば検討するほど、何も検討していなかったというのが非常に分かっているところでございまして、当初に差し戻ってと言われても、当初に差し戻ることができないぐらい、応札時の提案というのは内容のないアバウトなものであった。

工程検証委員会
(令和5年7月24日)
議事録より

論点2 区民会館の利用や災害対策拠点としての活用が延期。これに対する区民への賠償は十分なのか?

- これまでは全工期完了後に、遅延違約金を請求する予定でしたが、違約金は各工期が終わった際に請求する方式に変更になりました。
- 1期工期に係わる違約金は、遅延違約金が3.63億円、技術提案不履行違約金4.15億円が予定されています。

→自民党は、区民の負担軽減を第一に考え、引き続き区と大成建設と対話を続けます



ようやく実現! 危機管理監(部長級)の設置

●これまで自民党は、長年にわたってあらゆる災害に対応できるという観点から自衛官出身者を危機管理監に置くことを求めてきました。しかしながら、保坂区政の下では消防出身者を部長級とすることに決まり(令和5年11月1日付)、自衛官出身者は課長級での配置となりました(令和6年1月1日付)。

- 周辺諸国による脅威が現実となりつつある今こそ、この国と世田谷を守るには、区と自衛隊等との連携が必要不可欠です。区に危機管理監を設置したものの、実際には区と自衛隊がどのように連携を図るかについての検討は具体的に進んでいません。
- 危機管理監を設置したことで満足せずに、ポストを2つ新設した事の妥当性や危機管理体制・BCPなどの実効性が担保されるように、世田谷区民の命を守るべく、自民党としてしっかりと目を配っていきます。

自民党 世田谷区議団

自民党はあなたの声に耳を傾け政治に届けます。あなたと政治をつなぐ窓口、区議会議員にご意見ご要望をぜひお寄せ下さい。

<p>高山 晋一 はたけやましんいち</p> <p>〒156-0041 世田谷区大原1-16-3-112 ☎090-1619-3320 ☎3466-3383 ✉39shin1008@gmail.com</p>	<p>山口 ひろひさ やまぐち</p> <p>〒158-0082 世田谷区等々力5-4-2-602 ☎3702-1819 ☎3702-1819 ✉hiro1211@dh.mbn.or.jp</p>	<p>真鍋 よしゆき まなべ</p> <p>〒157-0063 世田谷区裕4-20-18-206 ☎3300-3940 ☎3300-3973 ✉yoshiyuki.manabe@nifty.ne.jp</p>	<p>下山 よしお しもやま</p> <p>〒154-0011 世田谷区上馬4-2-5 ☎3418-2869</p>	<p>和田 ひでとし わだ</p> <p>〒158-0083 世田谷区奥沢1-40-2 ☎3720-3542 ☎3720-6928 ✉info@wadahidetoshi.com</p>	<p>石川 ナオミ いしかわ</p> <p>〒156-0056 世田谷区八幡山3-23-26-102 ☎5942-1285 ☎5942-1285 ✉info@naomi-ishikawa.com</p>	<p>阿久津 皇 あくつ</p> <p>〒157-0073 世田谷区站8-2-24 ☎080-3464-2911 ☎6310-3880 ✉info@akutsu.net</p>
<p>おぎの けんじ</p> <p>〒158-0093 世田谷区上野毛4-13-11 ☎090-4599-8946 ☎6809-7120 ✉ogino@oginokenji.jp</p>	<p>加藤 たいき かとう</p> <p>〒154-0017 世田谷区世田谷1-28-13-202 ☎6674-2391 ☎6674-2395 ✉taiki-info@katotaiiki.com</p>	<p>河野 としひろ このの</p> <p>〒154-0023 世田谷区若林1-16-1 ☎6805-4054 ☎6805-4056 ✉info@kouno.tokyo</p>	<p>宍戸 三郎 ししど</p> <p>〒156-0043 世田谷区松原3-42-2-4F ☎6805-4054 ☎3323-7222 ✉shishido4410@cello.ocn.ne.jp</p>	<p>坂口 賢一 さかぐちけんいち</p> <p>〒156-0015 世田谷区榎町1-11-4 ☎3429-4581 ☎3429-7906 ✉info@sakaguchikenichi.com</p>	<p>くろだ あいこ</p> <p>〒157-0067 世田谷区喜多見8-19-1-201 ☎050-3635-9615 ☎5727-1231 ✉kuroda.aiko65@gmail.com</p>	<p>さとう 正幸 まさゆき</p> <p>〒157-0072 世田谷区祖師谷6-11-5-101 ☎6411-3124 ✉masasatoh.pr@gmail.com</p>

令和6年 区政レポート



自民党世田谷区議団

新しい年が始まりました。

依然続く物価高・資源高騰などにより、皆様の生活や多くの事業者の方々の経営環境に大きな影響が生じてきていることと思えます。

我々、自由民主党世田谷区議団は、こうした社会経済の動向に危機意識を持ち、地域産業への経営継続支援、子育て支援、医療政策、農地保全、都市基盤整備、気候変動に伴う災害対策等に力をを入れて取り組んでまいります。

また、高齢者・障がいのある方々が安心・安全に暮らせるまちづくり、助け合い、支え合える心豊かな地域づくりを推進してまいります。

令和6年
自由民主党
世田谷区議団

自民党世田谷区議団の重点政策 区民主役の政策で世田谷の明日を切り拓く

政策3本柱 (令和5~9年度)

- 1 超少子高齢社会に打ち勝ち 健康長寿の実現を**
- 2 全ての世代が恩恵を受けられる デジタル行政化(DX)の実現を**
- 3 大規模災害・感染症・有事の際に 区民の命を守り抜く**

公職選挙法により、時候の挨拶状を政治家が出すことは禁止されています。自民党世田谷区議団では本誌を含めて新年のご挨拶を控えさせていただきますことを予めご了承ください。

区民主役の政策で世田谷の明日を切り開く

2024年自民党世田谷区議団の重点政策

1 超少子高齢社会に打ち勝ち健康長寿の実現を



子育て支援に留まらず 真の少子化対策を

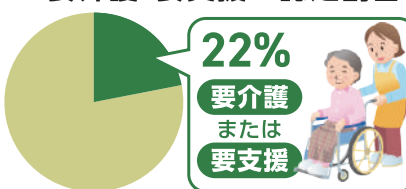
少子化対策に関しては特効薬がなく、取組みを始めてすぐに効果が現れ、出生率が回復するものではありません。だからこそ機動的な施策展開が求められます。

世田谷区の出生率は、都道府県で最下位の東京都平均(1.04)より更に低い1.02です。にもかかわらず、今の保坂区政の下では「子育て支援」をただで少子化対策をしている気になっている現状にあります。

子育て支援を拡充しても少子化傾向を変えることができていない今、子育て支援と少子化対策は切り分けて抜本的に政策立案する必要があると考えます。

世田谷区は 要介護の高齢者が 全国比1.2倍!?

区内の65歳以上の 要介護・要支援の認定割合



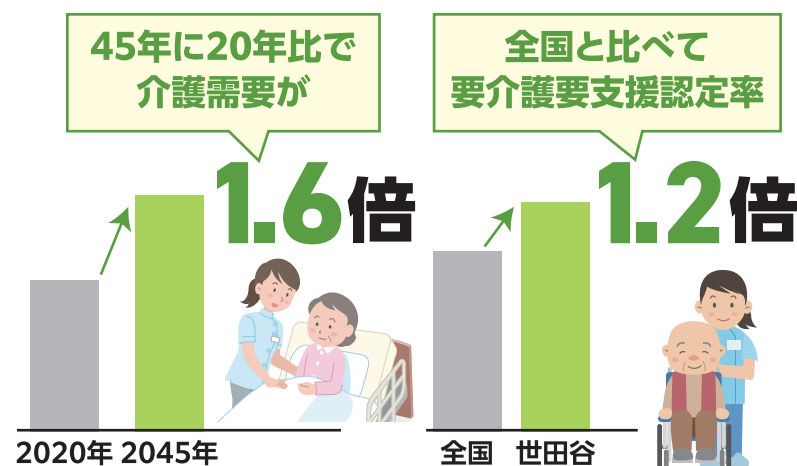
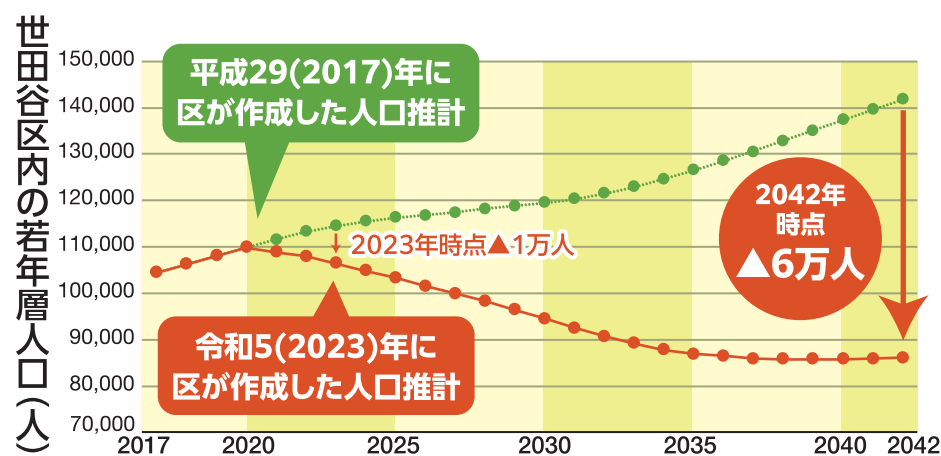
なんと世田谷では区内の高齢者のうち約4人に1人が要介護・要支援の認定を受けています。

この要介護・要支援の認定を受けている人の割合は、全国平均と比べても世田谷は1.2倍と非常に高い数字が出ており、健康長寿の実現に向け一刻も早く取り組むべきです。

また、介護の需要は2045年には、現在の1.6倍になることが分かっています。今後更に増えるであろう独居の方に対しての策も合わせて、介護・健康長寿の課題に対して、自民党は真摯に取り組んでいきます。

特に若年層人口が急減する将来推計に変化

世田谷に子育て世代が好んで移住してきた時代は終わり、区外への流出超過に



世田谷から国を動かす

少子化担当大臣らに子育て支援策に係る 所得制限の撤廃等を求める要望書を提出



小倉少子化担当大臣(当時)への提出



自見大臣政務官(当時)への提出

- 世田谷区の44%の児童は、所得制限により児童手当の支給対象外です。親の所得に係わらず全ての子どもが平等に扱われるべきと考えます。
- 理想の子供数を持たない理由に約8割の夫婦が(妻が35歳未満)「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」と答えています。家庭の事情と子供の未来は、切り分けて考える必要があります。
- 国や東京都から、高校や大学の無償化に対し新たな方針が出てきましたが、次世代のニーズに合わせた施策になっていくように要望し続けてまいります。

2 全世代が恩恵を受けられるデジタル行政化(DX)

手続きの長い待ち時間



スマホで



現状、多くの行政手続は窓口でしかできず、手続きが必要な方は老若男女問わず窓口を利用するため、窓口が混雑しています。

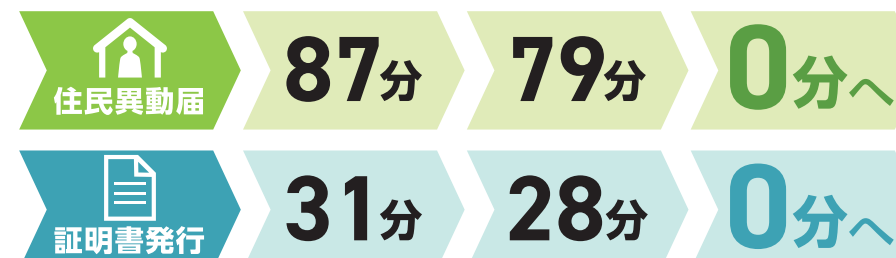
しかし、行政手続がオンラインで可能になると、多くの現役世代はデジタル手続きを選び、窓口に来る方が減ります。

その結果、ご年配の方、障がいのある方、デジタル手続に不安のある方の待ち時間を減らせるのです。

保坂区政におけるDXの目玉政策は「全庁上げてDX化に伴う窓口緩和」でしたが、この1年間で8分間しか短縮できていません。自民党は窓口待ち時間ゼロに向けて、徹底的な行政のDXを進めていきます。

待ち時間

令和4(2022)年 令和5(2023)年



3 大規模災害・感染症・有事の際に区民の命を守り抜く

災害時は、6人に1人が避難所生活をする

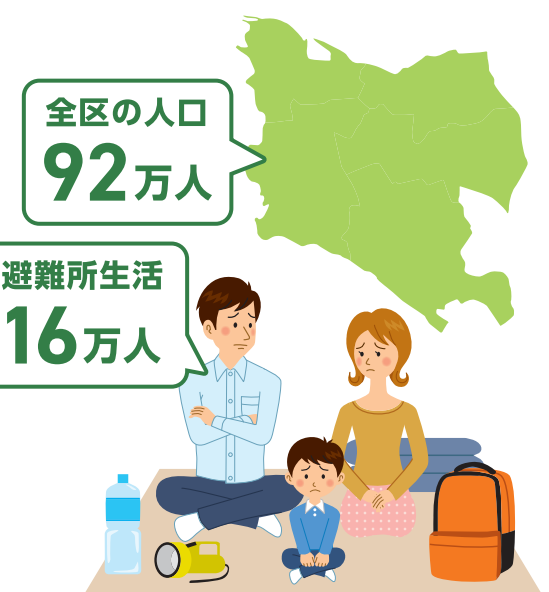
阪神淡路大震災から約30年。同じ規模の地震が世田谷区で起きたらどうなるでしょうか。

当時兵庫県では7人に1人が避難所生活に。世田谷区では6人に1人、16万人の方が避難所生活を送る算定になります。

だからこそ避難所整備は遅らせてはならないと繰り返し訴えてきました。

加えて大事になるのは在宅避難。避難所へ向かう際に怪我をする、また災害や避難所の規模によっては希望する全員を受け入れられない可能性があります。実は自宅にいる方が安全な場合もあるのです。

7人に1人が避難所生活をした 阪神淡路大震災よりも 多くの避難者が発生



どうにか一歩前進 2校→3校へ 区立校90校

自民党は公立学校の施設整備に全力で取り組んでいます!



保坂区政になり、当初予算・税収が右肩上がりであるにもかかわらず、子どもたちが日々生活する場であり、災害時は地域住民の避難所となる学校の改築予算を減らし、年間改築のペースを3校から2校に落としてしまいました。



その結果、全ての改築は玉突きのように遅れてしまいました。区内の学校は昭和30~40年代にかけて集中的に整備してきたため、老朽化が進んでいる学校が多数、中には築60年以上の学校もあります。



地域の根幹、防災の拠点は学校です。自民党が再三に渡り要望し、2023年度に改築のペースを2校から3校に戻す事が実現しました。



また、学校施設の老朽化は酷暑対策においても深刻な影響を及ぼしています。地域の皆さまからは「空調が全くきかない」という声を多数いただきました。自民党では早急に空調整備についても要望し、現在、順次エアコンの改修を進めています。